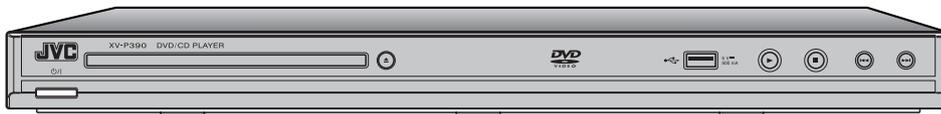
JVC

取扱説明書
/保証書

DVD プレーヤー

型名 **XV-P390**

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に2 ～ 3 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力を
お願いいたします。

- **下記アドレスのホームページより、ご登録ください。**
  http://www.victor.co.jp/reg/

※ ＪＶＣは日本ビクターのグローバルブランドです。

LVT2147-001A

安全上のご注意－はじめにお読みください

▼絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▼絵表示の説明

注意をうながす記号　　行為を禁止する記号　　行為を指示する記号

一般的注意　感電　手を挟まれないよう注意　禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止　一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。
- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない、カバーを外さない。
火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。
火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

表示された電源電圧（交流100ボルト） 以外で使用しない。
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。
感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。
頭からかぶると窒息の原因となります。

指定の電源コードを使用する。
- 仕様の違いによる発煙・発火を防ぐため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないで下さい。
- 付属のコードは本機以外の機器には使用しないで下さい。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。
- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

欧州連合のリサイクルマークです。

故障などを防止するため次の場所は避けてください。
・風通しの悪い狭いところ
・バランスの悪い不安定なところ
・寒暖の差が激しいところ
　本機の使用環境温度は5゜C～35゜Cです。　この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。
・磁気を発生するところ
・OA機 器やけい光灯のすぐそば
・振動の激しいところ

本体のお手入れは
パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとでからぶきしてください。
ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。

もくじ

はじめに.. 5~8

接続とセットアップ......................9~12

操作 .... 13~18

参照 .... 20~22

はじめに

この製品を適切に使用するためにこの取扱説明書をよくお読みのうえ今後のために保管してください。

この取扱説明書はDVDプレーヤーの操作およびメンテナンスについての情報を提供しています。機器のサービスが必要なときには承認されたサービスマンに依頼してください。

⃠ 記号の表示について

操作中に画面に“ ⃠ ”の記号が表示され、この取扱説明書で説明されている機能がその特定のメディアで利用できないことを示しています。

この取扱説明書で使用されている記号

注記
特定の注意および操作の特徴を示します。

ヒント
操作を容易にするヒントを示します。タイトルが下記の記号を備えている項目はその記号のディスクだけに適用されます。

- **ALL** 以下のリストの全てのディスク
- **DVD** DVDおよびファイナライズが完了したDVD-R/-RWおよび+R/+RW
- **ACD** オーディオCD
- **MP3** MP3ファイル
- **WMA** WMAファイル

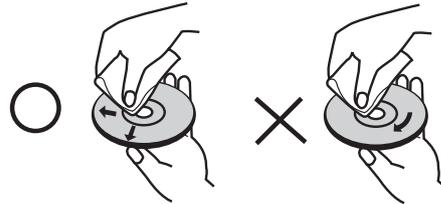
ディスクについてのご注意

ディスクの取扱い
ディスクの記録面に触れないでください。ディスクを持つ際はディスクの端をつかみ、表面に指紋をつけないようにします。ディスクに紙やテープを貼り付けないでください。

ディスクの保管

使用後、ディスクはケースに保管してください。ディスクは直接日光や熱源に当てないようにしてください。また絶対に直射日光の当たる車内に放置したままにしないでください。

ディスクのクリーニング

ディスクの上に指紋やほこりがあると画質が低下し、音が歪みます。使用前に清潔な布でディスクをクリーニングします。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナまたは古いビニールレコードに使用する静電対策スプレーは使用しないでください。

再生できるディスク

- DVD ビデオ、オーディオCD

- DVD ビデオモードで録画し、ファイナライズされた DVD-R/-RW、+R/+RW ディスク
- VRフォーマットで記録されたDVD-RW(CPRM記録は対応)
- 以下のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - オーディオCD フォーマット
  - MP3/WMA/JPEG(MP3/JPEG ファイルを再生するとき)

再生できるデジタル音声フォーマット
リニアPCM、ドルビーデジタル、DTS*

お知らせ

- ディスクの傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- 次のディスクは音声のみ再生することができます。CD-EXTRA(エクストラ)、CD TEXT(テキスト)、およびMIX-MODE CD。
- ディスクによっては再生できない場合があります。

* DTS フォーマットで記録されたDVD ビデオやオーディオCD の音声を正しく再生するには、DTS デコーダー搭載機器を接続してください。

再生できないディスク
次のディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによって機器を破損することがあります。

- DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、CD-ROM、SACD、フォトCD
- ファイナライズ処理されていないディスク
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCD など)

本機では、CD 規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDロゴマーク

「デュアルディスク」のDVD 側でない面は、CD 規格(CD-DA)に準拠していないため、本機では再生しないことをおすすめいたします。

リージョン番号(ローカル番号)について

DVD ビデオの場合、リージョン番号表示に「ALL」または番号「2」が含まれているディスクに限り再生することができます。
再生が可能なリージョン番号表示の例:

リージョン番号は、国や地域ごとに割り当てられた番号です。ディスクのジャケットもご参照ください。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC 方式に適合しています。NTSC 方式以外のテレビ方式(PAL 方式など)で収録されたディスクは、NTSC 方式に変換して再生します。

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS およびDTS Digital Out は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVD ビデオのロゴは商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でもこれを十分尊重いたします。

本体前面

1 ⏻/I (電源)
本機の電源をオン／オフします。

2 ディスクトレイ
ここにディスクを置きます。

3 ⏏ (開/閉)
ディスクトレイを開いたり、閉じたりします。

4 表示窓
本機の現在の状態を表示します。

5 リモコン受光部
ここに向けてリモコンを操作します。(操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mです)

6 USB ポート
USBフラッシュメモリを接続します。

7 ► (再生)
再生の開始／再開をします。

8 ■ (停止)
再生を停止します。

9 I◄◄ (スキップ)
現在のチャプターまたはトラックの始めに戻ったり、前のチャプターやトラックに移行します。
押し続けると早戻し再生になります。

10 ►►I (スキップ)
次のチャプターやトラックに移行します。
押し続けると早送り再生になります。

リモコン

電源 (⏻/I)
本機をオン／オフします。

開/閉 (⏏)
ディスクトレイの開/閉をします。

一時停止/コマ送り (II)
再生を一時停止します。コマ送り再生する場合は繰り返し押します。

スキップ (I◀◀/▶▶I)
次のチャプターやトラックに移行します。現在のチャプターまたはトラックの始めに戻ったり、前のチャプターやトラックに移行します。

停止 (■)
再生を停止します。

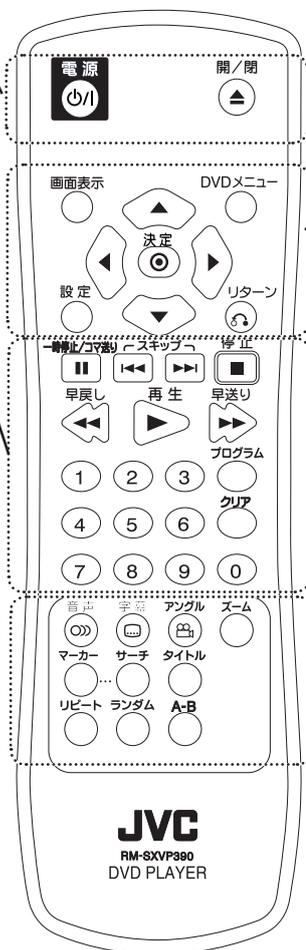
早戻し (◀◀)
逆方向にサーチします。

早送り (▶▶)
正方向にサーチします。

再生 (▶)
再生を開始します。

0-9 番号ボタン
メニューの番号の付いたオプションについてはその番号を選択します。

プログラム
プログラム編集モードへ入ります。

クリア
マーカーサーチメニューのプログラムリストやマーカー番号を削除します。

画面表示
画面表示にを表示/終了します。

DVDメニュー
DVDディスクのメニューを表示します。

◀ / ▶ / ▲ / ▼ (左/右/上/下)
メニューの項目を選択します。

決定 (◉)
選択したメニューを決定します。

設定
セットアップメニューを表示/終了します。

リターン
メニューから戻ります。
USBメモリーに切り換えます。

音声
音声チャンネル、または音声で使われる言語を選択します。

字幕
字幕言語を選択できます。

アングル
利用できる場合はDVDカメラアングルを選択します。

ズーム
ビデオ画像を拡大します。

マーカー
再生中にしるしをつけます。

サーチ
マーカーサーチメニューを
表示します。

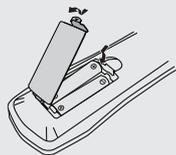
タイトル
必要に応じて、タイトルメニューを表示します。

リピート
チャプター、トラック、タイトル、全てをリピートします。

ランダム
ランダムにトラックを再生します。
(オーディオCD、MP3、WMA)

A-B
ポイントAからBの区間を
繰り返します。

リモコンを準備する

下図のように付属の単4 形乾電池を入れます。電池の極性(+、−)を間違えないように入れてください。

付属の電池は動作確認用です。操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。

ご注意
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく。
- 電池を加熱または分解したり、火や水の中に入れない。
- 電池を交換するときは、古いものや違う種類の電池を混ぜて使用しない。

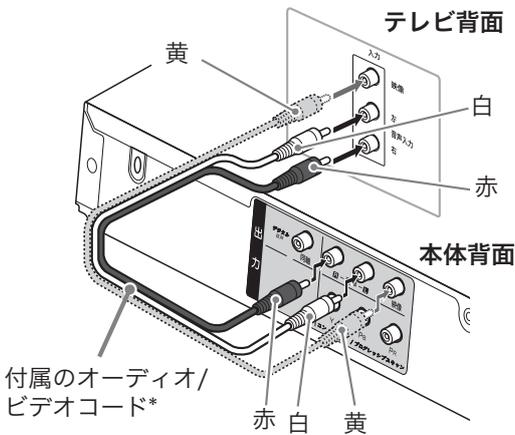
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

接続とセットアップ

接続

接続時のご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、画像が乱れることがあります。

基本の接続

D 映像端子付きテレビと接続する

スキャンモードを切り換えるには、設定メニューの「表示」内のプログレッシブをオンにします。

お知らせ

- プログレッシブスキャン方式をお楽しみ頂くためには、テレビのD 端子がD2 信号に対応している必要があります。

お知らせ

プログレッシブスキャン対応テレビやハイビジョンテレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあります。テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「インターレース」方式にしてください。

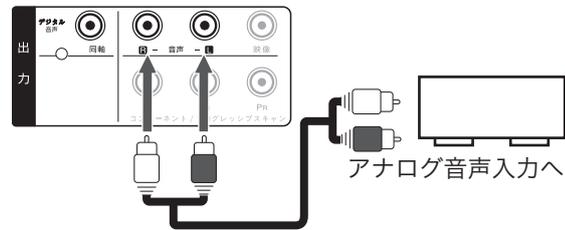
お知らせ

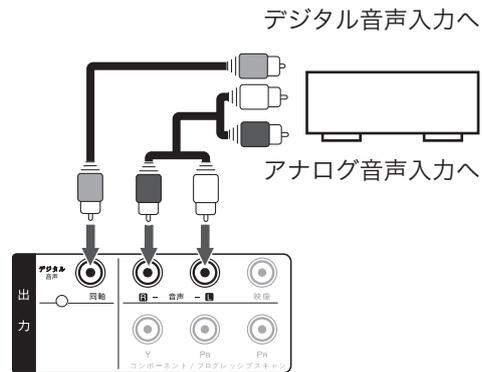
- テレビの音声入力端子がモノラル端子の場合は、別売のステレオーモノラル音声変換コードをお使いください。
- ハイビジョンテレビまたはハイビジョン対応テレビをお持ちの場合には、本機をD 映像端子で接続できます。D 映像端子で接続すると、プログレッシブスキャン方式でより良い画質をお楽しみ頂けます。

別売りのオプション品

品名	:	品番
・D 端子コード	:	VX-DS110 など
・オーディオコード	:	CN-510E など

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店にてお求めください。品番は変更されることがあります。

アンプなどとアナログ音声接続する

アンプやデコーダーとデジタル音声接続する

ドルビーやDTS のデコーダー内蔵アンプや専用デコーダーを使って、より本格的な音声をお楽しみ頂けます。

お知らせ

- ディスクによっては音が出ない事があります。その場合はアナログ音声でお楽しみください。
- 音声メニューの「デジタルOUT」を、接続した機器の搭載デコーダーの種類に合わせて設定してください。詳しくは「設定メニュー」をご覧ください。

コンポーネントビデオの接続

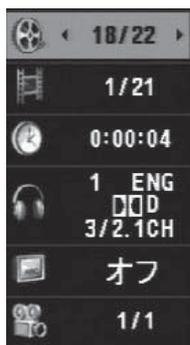
Y Pb Pr コードを使用して、本機のコンポーネント/プログレッシブスキャン端子とテレビの対応する入力端子を接続します。

画面表示

ディスク情報を画面上に表示

ディスクの各種情報を画面上に表示することができます。

一般的な操作

1. [リモコンの[画面表示]または本体の[DISPLAY]を押して各種再生情報を表示します。表示される項目はディスクタイプおよび再生の状態によって異なります。

2. ▲ / ▼ を押して項目を選択し、◀ / ▶ を押して設定を変更または設定できます。
   - タイトル(トラック)- 現行のタイトル(トラック)番号/タイトル(トラック)の全体の番号。
   - チャプター 現行のチャプター番号/全体のチャプター番号。
   - 時間 - 経過した再生時間。
   - 音声 - 選択された音声言語またはチャンネル。
   - 字幕 - 選択された字幕。
   - アングル - 選択されたアングル/全体のアングル。

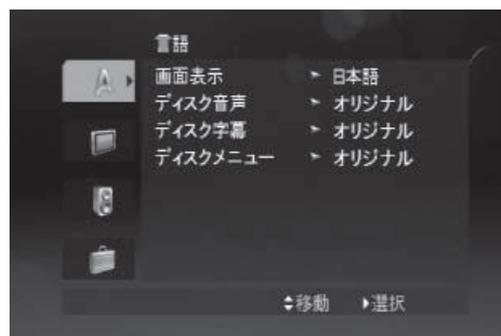
ご注意:

- 画面表示は約12秒後に自動的に消えます。
- ディスクによっては、上記の　設定を変更できない場合があります。

設定メニュー

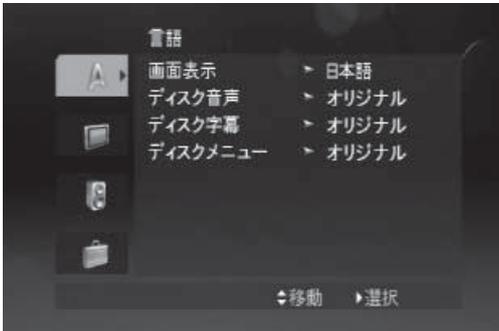
お好みに合わせて、または本機の使用状況に合わせて初期設定を変更できます。

一般的な操作

1. 設定を押すと初期設定メニューが表示されます。

2. ▲ / ▼を使用して希望のオプションを選択し、▶ を押して第2レベルへ行きます。スクリーンは選択された項目の現行の設定および他の設定を表示します。
3. ▲ / ▼を使用して第2の希望設定を選択し、▶ を押して第3のレベルへ行きます。
4. ▲ / ▼を使用して希望の設定を選択し、決定 (◉)を押して選択を確定します。いくつかの項目によっては追加のステップが必要です。
5. 設定が終わりましたら、設定を押して初期設定メニューを終了します。

ご注意:

- ディスクによっては、設定が働かない場合があります。

言語

画面表示

設定メニューと画面表示用の言語を選択します。

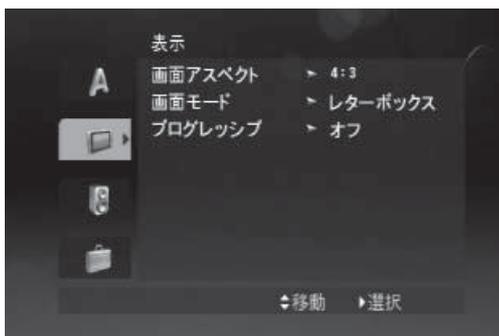
ディスク音声 / ディスク字幕 / ディスクメニュー

オーディオトラック（ディスク音声言語）、字幕、
ディスクメニューの好みの言語を選択します。

オリジナル: ディスクに記録された標準の言語になります。

その他: 画面に表示されていない言語を選択するためには、20ページに示されている言語コード番号に対応した4桁の数字を数字ボタンで入力してから決定(◉)を押します。間違った言語コードを入力してしまったら、クリアを押します。

オフ (ディスク字幕): 字幕言語をオフします。

表示

画面アスペクト

4:3: 標準テレビ（4:3）が接続されている場合に選択します。

16:9: ワイドテレビ（16:9）が接続されている場合に選択します。

画面モード

画面アスペクトが4：3に設定されているとき、ワイド画面で収録されたDVDを再生する場合の画面モードを選択できます。

レターボックス: 上下に黒い帯がある状態で映ります。

パンスキャン: 左右両端が切り取られた状態で映ります。
上下に黒い帯は映りません。

プログレッシブ

プログレッシブスキャン方式により、ちらつきのない高画質映像をお楽しみいただけます。
コンポーネント/プログレッシブスキャンまたはD1/D2映像出力ジャックを使ってプログレッシブスキャン信号に対応したテレビやモニターに接続する場合には、プログレッシブスキャンをオンに設定します。

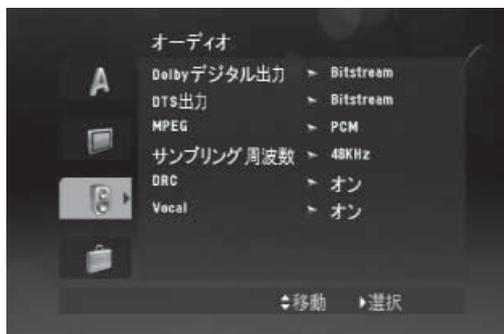
プログレッシブスキャンをオンにするには

本機のコンポーネント/プログレッシブスキャンまたはD1/D2映像出力ジャックをテレビまたはモニターの入力に接続し、テレビまたはモニターをコンポーネントまたはD1/D2入力に設定します。

1. [表示]メニュー上の[プログレッシブ]を選択して▶を押します。
2. ▲ / ▼ボタンで[ON(オン)]を選択します。
3. 決定(◉)を押して、選択を確定させます。
   確認メニューが表示されます。
4. 画面上に確認メニューが表示されたとき。
   [取消し]がハイライト表示で予め選択されています。
   ◀ / ▶ ボタンで[入力]をハイライト表示にします。
5. 決定(◉)を押すと、本機はプログレッシブスキャンモードに設定されます。

間違って、プログレッシブを[オン]に設定してしまった場合は、この装置をリセットしてください。まず、装置からディスクを取り出します。次に、停止を5秒間押し続けます。ビデオ出力が標準設定に戻り、ご使用になるTVで画像が見えるようになります。

音声

各DVD ディスクにはいろいろなオーディオ出力オプションがあります。お使いのオーディオシステムの種類に従い、プレーヤーのオーディオオプションを設定します。

Dolby デジタル出力 / DTS出力 / MPEG

Bitstream: Dolby デジタル、DTSまたはMPEGオーディオに対応しているアンプまたはデコーダーにデジタル接続する場合は、"ビットストリーム"を選択します。

PCM (Dolbyデジタル/MPEG): アンプまたはデコーダーがDolbyデジタル、MPEGに対応していない場合に選択します。Dolby デジタルまたはMPEGでエンコードされた DVD は自動的に2チャンネルPCMオーディオにダウンミックスされます。

オフ (DTS 対応): "オフ"を選択すると、デジタル出力端子を通してDTS信号は出力されません。

サンプリング周波数

お使いのアンプまたはデコーダーが96kHz信号対応でない場合は、48kHzを選択します。この選択をすると、自動的に96kHz信号を48kHzに変換します。アンプまたはデコーダーが96kHz対応の場合は、96kHzを選択します。アンプまたはデコーダーが96kHz信号に対応しているかは、お使いの製品の説明書を確認してください。

DRC (ダイナミック レンジ コントロール)

映画などのDVDでは、ダイナミックレンジ（最大と最小の音量差）がテレビ放送に比べて大きく収録されています。このため、DVD内のセリフのシーンなどでは、声が小さく聞こえる場合があり、テレビやアンプのボリュームを上げる必要があります。DRC (ダイナミック レンジ コントロール)をオンにすると、DVDに収録されているDレンジを小さくし、テレビやアンプのボリュームを下げたままでもセリフなどが聞こえやすくなります。

Vocal

マルチチャンネルカラオケDVDを再生する場合には、ボーカルをオンに設定します。ディスクのカラオケチャンネルは標準ステレオサウンドとミックスされて出力されます。

その他

ブラック拡張

再生映像の黒の黒さ、黒に近い暗いグレ―の表現の調節ができます。DVDに収録された映像の画質、テレビ特有の画質に対応して、お好みで暗いシ―ンが良く見えるように設定します。

RECビットレート

USBへ直接録的に録音する時のビットレートを選択できます (96 kbpsまたは128 kbps)。ビットレートが高ければそれだけ音質が向上しますが、必要なUSBフラッシュドライブの容量も大きくなります。USBへの直接録音に関しては18ページを参照してください。

操作

一般的な再生機能

ボタン	操作	ディスク
開/閉(⏏)	ディスクのトレイを開閉します。	ALL
一時停止/コマ送り(❚❚)	再生中に一時停止/コマ送り(❚❚)を押すと、再生が中断(ポーズ)されます。	ALL
	フレーム毎に再生(コマ送り)するには、一時停止/コマ送り(❚❚)を繰り返し押します。	DVD
スキップ(I◀◀ / ▶▶I)	再生中、スキップ(I◀◀ または▶▶I)を押して、次の章/トラックへスキップ、あるいは現在の章/トラックの始めに戻ります。 スキップ(I◀◀)を二度、短く押すと、前の章/トラックへ戻ります。	ALL
早戻し(◀◀) / 早送り(▶▶)	再生中、早戻し(◀◀)または早送り(▶▶)を繰り返して押して、必要なスキャン速度を選択します。 DVD:4ステップ MP3、WMA、オーディオCD:3ステップ	ALL
	再生の一時停止(ポーズ)中、早戻し (◀◀)または早送り(▶▶)を繰り返し押して、スローモーションで再生します(4ステップ)。	DVD
リピート	再生中、リピートを繰り返し押して、必要なリピートモードを選択します。 DVDビデオ ディスク: チャプター/タイトル/オフ オーディオCD、MP3/WMAディスク:トラック/オール/オフ	ALL
A-B	再生中にA-Bボタンを押して、ポイントAとポイントBを選択します。ポイントA(始点)からポイントB(終点)への区間を繰り返し再生します。	DVD ACD
ズーム	再生中または一時停止中にズームを押すと、ビデオ画像を拡大できます。(4ステップ)◀ ▶ ▲ ▼ のボタンを用いて、ズームされた画像を移動できます。クリアを押すと、ズームモードを終了します。	DVD
ランダム	ランダムにトラックを再生します。(オーディオCD、MP3、WMA)	ACD MP3 WMA DVD
タイトル	DVDにメニューがあれば、画面にはそのタイトルメニューが表示されます。DVDにメニューが無いときは、ディスクメニューが表示されます。	DVD
DVDメニュー	画面には、ディスクメニューが表示されます。	DVD
アングル( )	いろいろなカメラアングルで録画されたシーンを含んでいるDVDディスクの再生中に、アングルを繰り返して押して、お好みのアングルを選択します。	DVD
字幕( )	再生中に字幕を繰り返して押して、必要な字幕言語を選択します。	DVD
音声( )	再生中に音声を繰り返して押して、別の音声言語あるいは音声トラックを聞きます。	DVD

メモ：

- チャプターリピートまたはトラックリピート再生中にスキップ（▶▶I)ボタンを１回押すと、リピート再生はキャンセルされます。
- DVDによってはズームが作動しない場合があります。
- いろいろなカメラアングルで録画されたシーンを含んでいるDVDディスクを再生するときは、アングルの切換が可能であることの表示として、操作中にTV画面上でアングルマークが表示されます。
- リピートA-B、リピートはディスクによっては使用できない場合もあります。
- チャプター/トラックが起動後の3秒以内にI◀◀ が一度押されると、前のチャプター/トラックの再生になります。

追加の機能

タイムサーチ DVD

ディスク上の任意の時間から再生をスタートするには：

1. 再生中に画面表示ボタンを押します。
   タイムサーチボックスは残りの再生時間を表示します。
2. ▲ / ▼を押してクロックアイコンを選択すると、"-:--:--"が表示されます。
3. 左から右へスタート時間、時、分、秒を入力します。数字を誤って入力した場合は、クリアボタンを押して入力した数字を削除します。
   それから正しい数字を入力します。
4. 決定(◉)ボタンを押して確認します。選択された時間より再生がスタートします。

マーカーサーチ DVD

マーカーを実行するには

最高9つの記憶ポイントより再生をスタートすることができます。マーカーを実行するには、ディスクの希望の位置でマーカーボタンを押します。マーカーアイコンがテレビ画面にしばらく表示されます。繰り返すことで、最高9個のマーカーを記録できます。

マークされたシーンを呼び出したり、クリアするには

1. ディスク再生中にサーチボタンを押します。
   画面にマーカーサーチメニューが表示されます。
2. 9秒以内に ◀ / ▶ を押して呼び出したり、クリアしたいマーカー番号を選択します。
3. 決定(◉)ボタンを押すとマークされたシーンより再生がスタートします。
   もしくはクリアボタンを押すと、リストからマーカー番号が消去されます。
4. マーカーサーチメニューの番号を入力することによってどのマーカーも再生することができます。

リジューム DVD

ディスクの再生を停止しても、その位置をリジューム（記憶）し、再び再生するとリジュームされたシーンから再生します。

メモ：

停止ボタンを連続で２回押すと、リジュームは解除されます。

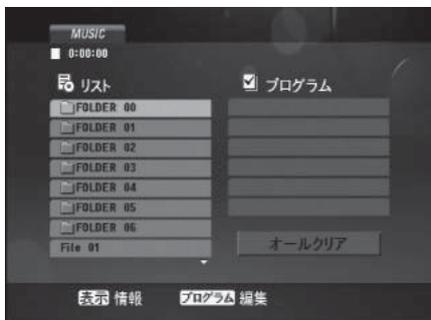
スクリーンセーバー/自動電源オフ

DVDプレーヤーの停止状態から約５分間、何も操作しないと、スクリーンセーバーを表示します。スクリーンセーバーを５分間表示したあと、自動的に電源が切れます。

オーディオCDまたはMP3/WMAディスクの再生

本機は、MP3/WMAまたはオーディオCDファイルを再生できます。

MP3/WMA/オーディオCD

MP3/WMAファイルが記録されたメディアまたはオーディオCDを挿入するとTVスクリーンにメニューが表示されます。
▲ / ▼ を押してトラック/ファイルを選択し、再生(►)または決定(◉)を押すと再生が開始されます。各種再生機能を使用できます。ページ13〜14参照。

ID3 タグ

トラックタイトルなどの情報を含むファイルを再生するとき、画面表示を押して情報を見ることができます。[Title, Artist, Album, Year, Comment]

ヒント:

- DVDメニューを押して、次のページに進みます。
- MP3/WMA、JPEGおよびMOVIEファイル付きのCDでは、MUSIC、PHOTOおよびMOVIEのメニューを切換できます。タイトルを押すと、メニューの上部の文字、MUSIC、PHOTOあるいはMOVIEがハイライトされます。

メモ:

ID3 タグは、Ver 1.1に対応しています。

再生できるMP3/WMAは、次のようになります。

- サンプリング周波数
  MP3: 8 - 48 kHz
  WMA: 32 - 48 kHz
- ビットレート
  MP3: 8 - 320 kbps
  WMA: 32 - 192 kbps
- ディスクにファイルを記録するときは、フォーマットを「ISO 9660」にしてください。
- ファイル名は最大8文字、拡張子を「.mp3/.wma」にしてください。拡張子「.mp3/.wma」以外のMP3/WMAファイルは認識できません。
- 最大ファイル数は600です。
- パケットライト方式(UDF)は使用しないでください。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- ファイル名およびID3タグの情報は、半角英数字にしてください。全角文字、漢字、ひらがな、カタカナなどは文字化けして表示します。

プログラム再生

プログラム機能はディスクのお好みのトラックを、プレーヤーのメモリに保存することができます。

1. オーディオCDまたはMP3/WMAファイルが記録されたメディアを挿入します。[AUDIO CD]または[MUSIC]メニューが表示されます。
2. プログラムを押します。Ⓔ マークが表示されます。

   注意:
   もう一度、プログラムを押してプログラム編集モードを終了すると、Ⓔ マークが消えます。
3. [リスト]上でトラックを選択し、決定(◎)を押して選択したトラックを[プログラム]リストに配置します。
4. ▲ ▼ ◀ ▶を使用して、[プログラム]リスト上で再生を開始したいトラックを選択します。
5. 再生(►)または決定(◎)を押して開始します。プログラムしたトラックの順番に再生が開始されます。[プログラム]リスト上の全トラックが一回再生されると再生は停止します。
6. プログラム再生から通常の再生を再開するためには、リスト上のトラックを選択してから再生(►)を押します。

リピートプログラムトラック

リピートを選択して希望するリピートモードを選択します。

- TRACK：現行のトラックをリピートします。
- ALL：プログラム リスト上の全トラックをリピートします。
- オフ（表示なし）：繰り返し再生しません。

注記:
リピートトラック再生中に、スキップ (►►I)を一度押すとリピート再生はキャンセルされます。

プログラムリストからのトラックの消去

1. ▲ ▼ ◀ ▶ を使用してプログラムリストから消去したいトラックを選択します。
2. クリアを押します。ステップ1～2を繰り返してリスト上の他のトラックを消去します。

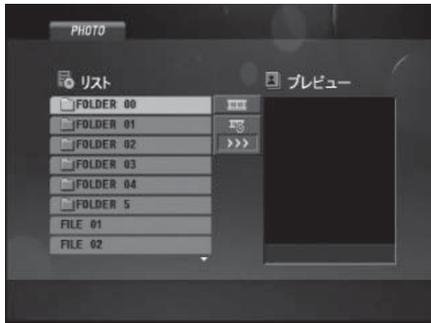
プログラムリストを完全に消去する

▲ ▼ ◀ ▶ を使用して[オールクリア]を選択し、決定(◎)を押します。

注記
電源がオフされるか、またはディスクを取り出したときにはプログラムは全て消去されます。

JPEG ディスクを見るには

本機は、JPEGファイルを再生できます。

1. JPEGファイルが記録されたメディアを挿入します。
   TVスクリーンに[PHOTO]メニュ–が表示されます。

2. ▲ / ▼ を押してフォルダを選択し、決定(◎)を押します。フォルダの中のファイルのリストが表示されます。
3. 特定のファイルを見たいときは、▲ / ▼ を押してファイルを選択して、決定(◎)または再生(▶)を押します。
4. 画像を見ている最中にPHOTOメニューへ戻るためには、停止(■)を押します。

ヒント:

- フォルダリストから1つ前のフォルダリストに戻りたいときは、リモコンの ▲ / ▼ ボタンを使用して ..を選択し、決定(◎)を押します。
- DVDメニューを押して次のページへ進みます。
- MP3/WMAおよびJPEGが混在したディスクでは MP3/WMAとJPEGを切り替えることができます。タイトルを押すとメニューのトップの[MUSIC]または[PHOTO]が選択されます。
- 画像を見ている最中にヘルプメニューを隠すには、リターン(↶)を押します。

スライドショー

▲ ▼ ◀ ▶ を使用して (スライド ショー)を選択し、次に決定(◎)を押します。

ヒント:

スライドスピードには3つのオプションがあります。
[>>>(高速), >>(ノーマル), >(低速)]
次に ▲ ▼ ◀ ▶ を使用して[ ]を選択します。そして次に ◀ / ▶ を使用して希望のオプションを選択します。

静止画像

1. スライドショーの途中で一時停止/コマ送り(❚❚)を押します。
   再生は一時停止モードになります。
2. スライドショーに戻るには、再生(▶)または再度[一時停止/コマ送り(❚❚)]を押します。

他のファイルへ移動

画像を見ている間にスキップ(I◀◀ または ▶▶I)またはカーソル(◀ または ▶)を一回押して次の、または1つ前のファイルへ移動します。

ズーム

画像を見ている間にズームを押してビデオ画像を拡大します(3ステップ)。拡大された画像の中で ◀ ▶ ▲ ▼ を使用して移動できます。

画像の回転

画像を表示中に ▲ / ▼ を押して、画像を時計方向または反時計方向に回転します。

フォト・ミュージック機能

MP3/WMA, JPEGが混在したディスクでは、音楽を聴きながらJPEG画像のスライドショー再生ができます。

1. ディスクを挿入します。
2. タイトルを押して[PHOTO]メニューを表示します。
3. ▲ / ▼ を押して写真ファイルを選択します。
4. ▶ を使用して アイコンを選択し、決定(◎)を押すと、再生が開始されます。
5. 画像を見ている最中にPHOTOメニューへ戻るためには、停止(■)を押します。

ヒント:

画像を見ながら、希望する音楽だけを聴きたいときは、[MUSIC]メニューから希望するトラックをプログラムし、次に上記の手順を実行します。

このプレーヤーとJPEG ディスクの互換性は次のとおり制限されています。

- JPEG ファイルの大きさと数によって、DVDプレーヤーがディスクの内容を読み取るのに長時間必要な場合があります。画像が表示されるまでに時間がかかったり、表示されない場合は、ファイルサイズが大きすぎる可能性があります。JPEGファイルの解像度を 2760 x 2048 以下にしてください。
- ディスク上の全ファイルとフォルダの数は 600 以下にしてください。
- いくつかのディスクは記録フォーマットの違い、またはディスク条件の違いによって互換性がない可能性があります。
- JPEGの拡張子は「.jpg」にしてください。
  それ以外の拡張子は認識できません。

USBフラッシュメモリの利用

USB (バージョン2.0 /1.1)フラッシュ ドライブ内のMP3/WMA/JPEGの各ファイルを再生できます。

1. USBフラッシュメモリを本機のUSBポートに接続します:
2. リターン(↶)を押して、停止モードでメニュー画面を表示させます。
3. ▲ / ▼またはDVDメニューでファイルを選択します。直接ファイルを選んで再生するには、番号ボタン(0-9)でファイル番号を入力します。
4. 再生(►)を押すとそのファイルが再生されます。

USBフラッシュメモリの利用に関する注記:

- 停止モード中にだけ、リターン (↶) を押して、USBモードとDISCモードを切り替えることができます。
- 動作中のUSBデバイスを取り外さないでください。
- データのロスを防止するために、定期的にバック アップをとることを推奨します。
- USB延長ケーブルやUSBハブを使用すると、USBデバイスが認識されないことがあります。
- USBケーブルを接続する場合は、長さ1m以内のUSB2.0ケーブルを使用してください。
- ミュージック ファイル(MP3/WMA)、フォト ファイル(JPEG)が再生できます。各ファイルに関する操作の詳細に関しては、関連のページを参照してください。
- ファイルの総数が600ファイル以上は対応していません。
- ビット レート: 8 - 320 kbps以内(MP3)、32 - 192 kbps以内(WMA)
- 本機のUSB機能は、すべてのタイプのUSBデバイスに対応している訳ではありません。
- MP3プレーヤー、デジタル カメラや携帯電話などには対応していません。
- 本機のUSBポートは、PCには接続できません。この装置はストレージ デバイスとしては使用できません。

USBへの直接録音

録音は、USBフラッシュ ドライブを装置に取り付けてから行います。[RECビットレート]のオプションを、必要に応じて[96 kbps]または[128 kbps]に設定します。(12ページ参照)

1. オーディオCDを挿入します.
2. ▲ / ▼またはDVDメニューでトラックを選択します。直接ファイルを選んで再生するには、番号ボタン(0-9)でファイル番号を入力します。
3. 音声 (○)))を押すと、録音が始まります。
4. 録音を止めるには、停止(■)を押します。

録音可能なモード

オーディオCDのすべてのトラックまたは希望する1つのトラックをUSBフラッシュ ドライブに録音できます。

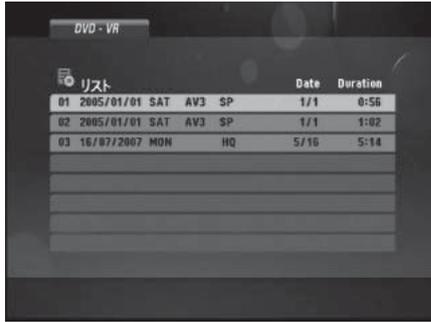
- トラックの録音: 再生、ポーズまたはリジューム ストップのモードで音声 (○)))を押します。
- ディスクの録音: 完全停止モードで音声 (○)))を押します。
- プログラム リストの録音: 停止モードで、プログラム リスト上のトラックを選択してから音声 (○)))を押します。

USBへ直接録音する上での注意

- 録音は、オーディオCDのトラックに関してのみ可能です。
- この機能を使用すると、まずUSBフラッシュ ドライブ内に「CD_REC」フォルダーが自動的に作成されます。その後、このフォルダー内に音楽ファイルが保存されます。
- 録音中に USB フラッシュ メモリーを取り外す、電源を切る、または製品を開くと故障することがあります。
- 録音中には、音楽は聞こえません。
- USBフラッシュ ドライブのフリース ペースが不足していると、録音はできません。フリース ペースを増加するためには、PCを使用してファイルを削除します。
- DTS方式でエンコードされているCD-Gディスクやオーディオ CDは、録音できません。
- 外付けHDDやマルチ カードリーダ、マルチ パーティションUSB、ロックされているデバイス、MP3プレーヤーには対応していません。
- 録音フォーマット: MP3ファイル
- エンコーディング ビット レート: 96 kbps / 128 kbps
- ファイルとフォルダーの最大数: 600未満であること(ファイルとフォルダーを合わせた総数)。

DVD-RW VR フォーマット ディスクの再生

DVDレコーダーで録画し、ファイナライズされたDVD-RW VRフォーマットのディスクを再生できます。

1. ディスクを挿入し、トレイを閉じます。スクリーンにDVD-VR メニューが表示されます。

2. ▲ / ▼ を押してトラックを選択し、次に再生(►)または決定(◉)を押すと再生が開始されます。
3. DVDメニューを押してMOVIEリストメニューへ移動します。

注記

- ファイナライズが完了していないDVD-RWディスクは再生できません。
- CPRM記録されたDVD-RW(VRモード)の再生に対応しています。

  「CPRM」とは
  CPRMは「一回だけコピー可能」放送プログラムで記録が許可されたコピー保護システムです。CPRMは記録メディアのコンテンツ保護(Content Protection for Recordable Media)の略語です。

操作

参照

言語コード

初期設定の“ディスクオーディオ”、“ディスク字幕”また“ディスクメニューの適切なコード番号を入力してください。

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アプハジア語	6566	フィジー語	7074	リンガラ語	7678	シンハリー語	8373
アファル語	6565	フィンランド語	7073	リトアニア語	7684	スロバキア語	8375
アフリカーンス語	6570	フランス語	7082	マケドニア語	7775	スロベニア語	8376
アルバニア語	8381	フリジア語	7089	マダガスカル語	7771	ソマリショナ語	8379
アムハラ語	6577	ガリシア語	7176	マライ語	7783	スペイン語	6985
アラブ語	6582	グルジア語	7565	マラヤーラム語	7776	スーダン語	8385
アルメニア語	7289	ドイツ語	6869	マルタ語	7784	スワヒリ語	8387
アッサム語	6583	ギリシャ語	6976	マオリ族	7773	スウェーデン語	8386
アイマラ語	6588	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	タガログ語	8476
アゼルバイジャン語	6590	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	タジク語	8471
バシキール語	6665	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タミール語	8465
バスク語	6985	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タタール語	8484
ベンガル語	6678	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	タイ語	8472
ビハール語	6672	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	チベット語	6679
ブルターニュ語	6682	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	ティグリニア語	8473
ブルガリア語	6671	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トンガ語	8479
ビルマ語	7789	インターリングア語	7365	イラン語	7065	トルコ語	8482
ベロルシア語	6669	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トルクメン語	8475
カンボジア語	7577	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	トウィ語	8487
カタロニア語	6765	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウクライナ語	8575
中国語	9072	ジャワ語	7487	ラエト語	8277	ウルドゥー語	8582
コルシカ語	6779	カンナダ語	7578	ルーマニア語	8279	ウズベク語	8590
クロアチア語	7282	カシミール語	7583	ロシア語	8285	ベトナム語	8673
チェコ語	6783	カザフ語	7575	サモア語	8377	ボラピュック語	8579
デンマーク語	6865	キルギス語	7589	梵語	8365	ウェールズ語	6789
オランダ語	7876	韓国語	7579	スコットランド高地ゲール語	7168	ウォロフ語	8779
英語	6978	クルド語	7585	セルビア語	8382	ホサ語	8872
エスペラント語	6979	ラオス語	7679	セルボクロアチア語	8372	イディッシュ語	7473
エストニア語	6984	ラテン語	7665	ショナ語	8378	ヨルバ語	8979
フェロー語	7079	ラトビア語	7686	シンド語	8368	ズールー語	9085

よくあるトラブルと解決方法

症状	考えられる原因	改善
電源が入りません。	・電源コードが接続されていません。	・しっかりとコンセントに電源プラグを差し込みます。
電源はオンになっていますが、DVDプレーヤーが作動しません。	・ディスクが挿入されていません。	・ディスクを挿入します。（表示窓の点灯しているディスクインジケーターを確認します。）
画像が表示されません。	・テレビ入力が切り替わっていません。	・テレビの適切な入力モードを選択すると、DVDプレーヤーの画像がテレビ画面に表示されます。
	・ビデオコードがしっかりと接続されていません。	・しっかりとビデオコードを端子に接続します。
音声が出ません。	・音声のケーブルで接続されている機器の入力が切り替わっていません。	・DVDプレーヤーから音が聞けるように正しいオーディオレシーバーの入力モードを選択します。
	・オーディオコードで接続されている機器の電源がオフになっています。	・オーディオコードと接続された機器の電源をオンにします。
	・オーディオオプションが誤った位置に設定されています。	・デジタルオーディオ出力を正しく設定し、電源ボタンを押してDVDプレーヤーの電源をもう一度オンにします。
DVD プレーヤーが再生をスタートしません。	・再生できないディスクが挿入されています。	・再生できるディスクを挿入します。（ディスクタイプ、カラーシステム、地域コードを確認します。）
リモコンが適切に作動しません。	・リモコンが DVD プレーヤーのリモートセンサーに向けられていません。	・リモコンを DVD プレーヤーのリモートセンサーに向けます。
	・リモコンが DVD プレーヤーから離れすぎです。	・リモコンをDVDプレーヤーに近づけて操作します。

主な仕様

一般

本体電源:	AC 100 V , 50 / 60 Hz
本体消費電力:	8 W
本体外形寸法(およそ):	430 mm x 39 mm x 207 mm (幅/高さ/奥行)
本体質量(重さ):	1.5 kg
操作上の温度:	5 °C ～ 35 °C
操作上の湿度:	5 % ～ 90 %

出力

映像出力:	p-p: 1.0 V 75 Ω(ピンジャック)
D1/D2映像出力:	(Y)p-p: 1.0 V 75 Ω (PB/PR)p-p: 0.7 V 75 Ω
コンポーネント映像出力:	(Y)p-p:1.0 V 75 Ω(ピンジャック) (PB/PR)p-p: 0.7 V 75 Ω(ピンジャック)
音声出力:	2.0 Vrms 1 kΩ(ピンジャック) (1 kHz 0 dB) (L,R)1系統
デジタル出力(同軸):	p-p: 0.5 V 75 Ω(ピンジャック)

入力

USB入力:	4ピン (USB 2.0 / 1.1に対応)
バスパワーサプライ:	DC 5 V ⎓ 500 mA

システム

レーザー:	DVDについて	波長: 653 ～ 663 nm 出力: 1.0 mW
	CDについて	波長: 770 ～ 810 nm 出力: 0.4 mW
信号システム:	NTSC	
周波数特性:	DVD (PCM 96 kHz): 8 Hz ～ 44 kHz DVD (PCM 48 kHz): 8 Hz ～ 22 kHz CD: 8 Hz ～ 20 kHz	
全高周波ひずみ率:	0.02 % 以下	
ダイナミックレンジ:	95 dB 以上 (DVD/CD)	

付属品

ビデオコード(1)、オーディオコード(1)、リモコン(1)、乾電池 単4形 (2)

ご注意

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本機は日本国内のみ使用できます。外国では、放送方式、電源が異なりますので使用できません。
  This DVD Player is designed for use in Japan only and can not beused in any other country.

Victor・JVC

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

【出張修理専門】のご相談窓口	
出張修理 受付センター	**(0800)800-9928**（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は(045)453-2960 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西五条南二十八丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青森	青　森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
岩手	盛　岡S.S.	(019)629-3835	盛岡市門一丁目18-1キャピタルハウス1F
	水沢S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋　田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T. 酒田S.T.	お問い合わせは仙台S.C.にて承ります。	
福島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長　野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問い合わせは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前　橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
山梨	甲府S.T.	お問い合わせは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CSセンター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1

都府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
静岡	静　岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T. 浜松S.T.	お問い合わせは静岡S.S.にて承ります。	
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	名東S.T.	お問い合わせは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金　沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
富山	富山S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
福井	福井S.T.	お問い合わせは金沢S.S.にて承ります。	
近畿			
京都 滋賀	京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神　戸S.T.	お問い合わせは大阪S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
山口	山口S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
島根	松　江S.S.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥取	鳥取S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
四国			
香川 高知	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問い合わせは広島S.C.にて承ります。	
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊本	熊　本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

(1109)

※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(0120)2828-17（フリーダイヤル） 携帯電話、PHSなどからのご利用は下記の番号へおかけ願います。 (045)450-8950　〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12

参照

保証とアフターサービス ― 必ずお読みください ―

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号		
型名	XV-P390			
お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	□□□-□□□□　電話（　　）　-		
お買い上げ年月日	年　月　日	保証期間	お買い上げ日から	本体　1年間
お買い上げ店		住所・店名・電話		

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
   - (1) 本書のご提示がない場合。
   - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
   - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
   - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷。
   - (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
   - (7) 一般家庭用以外（例えば業務用などへの長時間使用および車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   - (8) 消耗品（電池など）の消耗。
   - (9) （持込修理対象商品の場合）
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
   - (10)（出張修理対象商品の場合）
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
   - (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター（株）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。

・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。

・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

・お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
23 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**0120 － 2828 － 17** 携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は **電話（045）450 － 8950** **FAX（045）450 － 2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、24ページをご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0310SKMLGEEGL
P/N: MFL63266928